

\ 患者さまとそのご家族に安心と信頼をお届けするマガジン /

はつらつ通信

2021.9.1 September vol.168

発行: 医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集:『はつらつ通信』編集委員会

記念写真で
はい、チーズ！

デイケアで夏祭り

**密をつくらない工夫で
季節のイベントを満喫**



デイケアのご利用者さまが毎年楽しみにされている夏祭り。今年は8月24日(火)・25日(水)に行いました。

一昨年までは、射的やひもくじといったお祭りの出店気分を味わえる余興を楽しんでいただいていましたが、昨年からはご利用者さまが密にならないように内容を変えています。お菓子のつかみ取りでは箱を持った職員がお一人おひとりの席に出向くなどして、ご利用者さま同士は常に距離が保てるようにしました。

マスク着用、手洗い励行、まめな消毒は、昨年・今年の新しい習慣ですが、チョコバナナやわたあめなど夏祭りの定番の味は不変。コロナ禍で外出行事ができないこともあります、「食べながら“懐かしいなあ～”と喜んでくださったり、いつもと違う雰囲気を楽しまれています」と遠藤宏樹課長。デイケアの夏祭りは、季節感と非日常を感じさせる行事となつたようです。

当たり
ました！

おいしいね～！

しっかり
マスクで
感染予防！医療法人 北志会
札幌ライラック病院

肝臓外来

沈黙の臓器・肝臓を守ります

通院しやすい地域の病院の強みを生かして

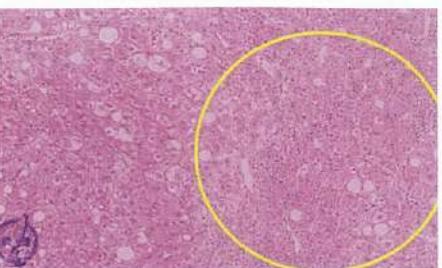
体に必要な物質の生成や、不要な物質の解毒・排泄と、さまざまに働く肝臓。健康ならば一部を摘出しても元の大きさに戻れる再生能力を備える一方、病気になると症状が現れにくいため「沈黙の臓器」とも呼ばれています。

肝臓外来では肝臓が発する小さなSOSを聞き逃さず、病気の進行を防ぎます。

身近な地域の病院で
C型肝炎を治療

一昨年4月に開設した当院の肝臓外来では、日本肝臓学会会員である志田勇人理事長と本庄恭輔院長が治療にあたっています。

「かつては肝がんになる方の



アルコール性肝炎の肝臓。肝細胞の腫大、脂肪沈着、線維化が丸の中に多く見られます。

出典:日本病理学会 病理コア画像

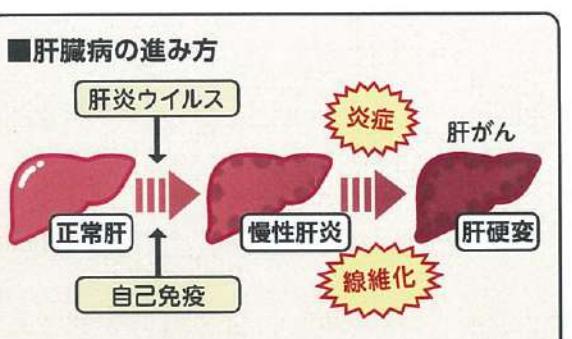


肝がんの一種である肝細胞癌になった肝臓。肝硬変で胆汁が滞り緑色に変色。

出典:日本病理学会 病理コア画像

それが激変したのが7年前。ウイルス確認の血液検査はほぼ100%が陰性になり、副作用もほとんどないという画期的な経口内服薬が登場しました。3年前には、ウイルスの型を問わず、透析の患者さまにも処方できる薬剤が登場。「マヴィレット」という薬で、最大投与でも12週。これなら当院でも行えると考えました。身近な病院で通院治療できれば、患者さまの負担も軽減できます」と、志田理事長は肝臓外来を開設する着想のきっかけを振り返ります。

多くがC型肝炎でした」と志田理事長。総合病院勤務だった10年以上前はインターフェロンによる抗ウイルス療法しかなく、何十週投与してもウイルスが完全に排出されないまま、多くの副作用に苦しむ患者さまを見てきたといいます。



C型肝炎の治療薬
「マヴィレット」。高価ですが医療費助成制度で自己負担は月額1~2万円程度。

参考資料:「肝臓病の理解のために」(2020年版、日本肝臓学会)

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

- 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
- 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
- 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
- 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
- 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
- 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めるることができます。
- 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
- 医学研究等に参加をお願いすることができますが、拒否することによって不利益を被ることはあります。

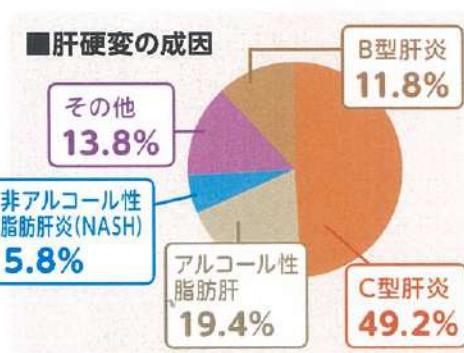
大切なのは早め受診
脂肪肝は定期通院で

慢性肝炎の原因の多くは、C型またはB型の肝炎ウイルスの感染です。現在、国内の感染はB型約110万人以上、C型約190万人以上と推定され、肝炎患者数はB型が約17万人、C型は約47万人(厚生労働省「知って、肝炎プロジェクト」)。感染していることを知らないと治療できるにもかかわらず重い肝臓病に至る可能性があります。「現代では感染心配はほぼありませんが、昔輸血を受けたとか、ご家族が肝臓病だったという方は一度調べてみたほうがいいですね」。

肝臓外来

- ◆09:00 ~ 12:30 (月・水・木・金)
- ◆13:30 ~ 17:00 (金曜のみ)

※変更になる場合がありますので、来院前にお電話またはウェブサイトでご確認ください。



参考資料:「肝臓病の理解のために」(2020年版、日本肝臓学会)

**職員リレー
エッセイ**

趣味

**薬剤科 科長
澤田 菜愛
【さわだ なつみ】**

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研磨します。

基本方針

- 患者様の命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 職員は、責任と誇りをもち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

感染予防に万全を期して情報発信を継続

糖尿病教室を7月に開催

眼科医を招いて 専門性の高い講話

参加無料・ご予約不要、所要時間45分ほどで、ふらりと立ち寄り可能な当院の糖尿病教室。糖尿病の通院患者さまやご家族はもちろん、血糖値が高く糖尿病予備軍とされる方、健康に関する情報を求める地域の方にもご活用いただいています。



とよだ眼科の豊田先生

第87回となる7月15日（木）の糖尿病教室は、午後2時から3階会議室にて行われました。メインは、とよだ眼科の豊田千富先生による



双方向性のある場で 正しい医療情報を

糖尿病網膜症の講話。東光豊眼科は当院の本庄院長のかかりつけ眼科医で、そのご縁から講師役をご快諾いただき、講師役をご快諾いただきました。糖尿病教室ではこれまでも外部講師を招いており、地域医療連携の実践にもなっています。



昨年来のコロナ禍で糖尿病教室は中止が続いているが、7月は久しぶりの開催でした。8月は再び中止、9月以降は未定の状況ですが、正しい医療情報を発信し質問も受け付ける場は、地域に根差す基本理念に必要な存在。今後も市中の感染状況を見ながら、感染予防に万全を期して糖尿病教室の再開を検討していきます。今後の予定は当院ウェブサイトでご確認ください。

送迎付き 企業健診のおしらせ



当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金
4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

[企業健診] ①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となります。当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

011-812-8822

URL <http://www.lilac.or.jp>



【平日】9:00~12:30 13:30~17:00



【平日】14:00~20:00
【土日祝】12:00~20:00



【土曜】9:00~12:00



『はつらつ通信』に対するご意見・ご希望は、電話または当院ウェブサイトのフォームにてお寄せください。